

わ
『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成21年3月10日		
		作成部署	建設交通部 道路建設課		
事業名	国道312号(宮津野田川道路)道路新設改良事業		地区名	宮津市喜多～須津	
概算事業費	約345億円		事業期間	平成6年度～平成22年度	
事業概要	鳥取豊岡宮津自動車道は、鳥取市から豊岡市を経て宮津市に至る延長約120kmの地域高規格道路であり、京都縦貫自動車道を始めとする高規格幹線道路と接続して広域的な高速道路ネットワークを形成する路線である。 この内、宮津野田川道路は宮津と野田川間の山間部をバイパスするもので、京都縦貫自動車道綾部宮津道路と接続して、府北部地域と京阪神地域や日本海沿岸地域とのアクセス向上及び地域間連携の強化を図るものである。				
目指すべき環境像	日本三景の一つ、天橋立を有する宮津湾に流れる二級河川大手川と野田川に挟まれた自然豊かな山地をトンネルや高架橋で横断する高速道路であるため、これらの保全と調和や市街地からの景観に配慮した計画を行う。				
関連する公共事業	二級河川大手川河川激甚災害対策特別緊急事業：京都府				
評価項目		施工地の環境特性と目標		環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点		選定要否			
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO2排出量等)	○		バイパスとして規格の高い自動車専用道路を整備するため、交通の円滑化が図られ、CO2排出量(約5900t/年)の縮減が期待できる。 また、「金引の滝」については路線計画の検討時点から、当該地形の流域に影響を与えないよう平面計画やトンネル計画を行った。	4
	地形・地質	○			3
	物質循環(土砂移動)				—
	野生生物・絶滅危惧種	○			3
	生態系	○			3
	その他				—
生活環境	ユニバーサルデザイン			大規模な高架橋や京都府管理では最長となるトンネルが計画されていることから、沿線の生活環境に影響を与えることが予想される。(トンネル工事による地下水の枯渇、施工時の騒音振動、大量の掘削残土処分、高架橋による電波障害など)これらについて特段の配慮が必要である。 トンネル工事の施工に当たり水文調査を継続的に実施し「金引の滝」や用水に影響を与えないか監視体制を強化し実施した。 また民家が密集する宮津側からの掘削を避け、与謝野町側から一方掘削を行い、騒音・振動への配慮を行った。 トンネル残土については他の公共事業に有効利用を行った。また、トンネル施工において排水の中和処理や粉じん対策を実施した。 高架橋工事については、電波障害が発生する可能性があるため着工前に事前調査して必要に応じて対策を講ずることとしている。	—
	水環境・水循環	○			3
	大気環境				—
	土壌・地盤環境	○			3
	騒音・振動	○			3
	廃棄物・リサイクル	○			3
	化学物質・粉じん等	○			3
	電磁波・電波・日照	○			3
その他			—		
地域個性・文化環境	景観	○		高架橋の設計にあたり地域のランドマークとなるV型橋脚の採用や塗装の色彩において景観に配慮した。 また地元寺院の参道確保を行うよう道路計画に配慮を行った。 開かれた公共事業を目指し工事内容を紹介する「かわら版」を47号発行した。また、地元住民団体はもとより府下全域から広く見学者を受け入れ、長大トンネル工事だけでも約2,800人に至った。	4
	里山の保全				—
	地域の文化資産	○			3
	伝統的行祭事				—
	地域住民との協働	○			5
	その他				—